

**作業療法科学域 修士論文書式**

1. 原稿の分量および形式は、下記のとおりとする。

- (1) The total length should be, in principle, not more than 6,000 words in general including main body, references, tables, figures and illustrations. One figure (or table and illustration) is calculated as 200 words.
- (2) 和文の場合はパソコンまたはワープロを用いて清書する。A4版横書き縦40行・横40字の1,600字分を1ページとし、引用文献、図表、写真を含み、本文の合計が12ページ(20,000字相当)以内とする。
- (3) 図表(パソコンまたはワープロを用いて清書)および写真は、それぞれ本文中に挿入する。

2. 原稿の構成

- (1) 原稿本文には、和文の要旨(400字以内)とキーワード(5語以内)、本文、引用文献、英語要旨(300語以内のAbstract)とKey Words(5語以内)の順に記載する。
- (2) 年号は原則として西暦を使用し、外国語・外国人名・地名は、原語もしくはカタカナ(最初は原綴りを併記)で書く。略語は本文中の最初に出たところでフルネームを入れる。

(3) 引用文献の記載方法

- (a) 本文中の該当箇所の右肩に、順に1), 2)の通し番号を付し、文末に番号順に揚げる。
- (b) 雑誌の場合  
著者名：題名、雑誌名、巻(号)：引用ページ、発行年の順に記載する。

[例]

井村恒郎：知覚抗争の現象について. 精神経誌, 60:1239-1247, 1958.

Baxter LR, Schwartz JM, Phelps ME et al. : Reduction of prefrontal cortex metabolism common to three types of depression. Arch Gen Psychiatry 46 : 243-250, 1989.

(c) 単行本の場合

著者名：題名. 監修ないし編集者, 書名, 版数：引用ページ, 発行社名, 発行地名, 西暦発行日の順に記載する。

[例]

八木剛平, 伊藤斉：躁鬱病. 保崎秀夫編著, 新精神医学：282-306, 文光堂, 東京, 1990.  
Gardner, MB : Oncogenes and acute leukemia. Stass SA (ed), The Acute Leukemias : 327-359, Mercel Dekker, New York, 1987.

(d) 著者名が4名以上の場合、3名連記の上、○○○他、あるいは○○○et al. とする。